

県出身者 遠くでトリーク

大阪市住之江区を拠点にした阿波踊り連「南大阪連」の幹事・広報も担当。堺徳島県人会を窓口

徳島県人会 会長 堺副会

長が亡くなったため、91年に新たに結成された「南大阪連」のメンバーに。男踊りを担当し、連員の指導にあたる。

連員約50人のうち徳島県出身者は10人ほどで、ほとんどは「なにわっ子」。

「県人会の副会長に就いたのは昨年4月。」「県人会が誇れるのは、やっぱり阿波踊り。就職して、それから始めようと考えている人はたくさんいる。連のホームページを見て問い合わせしてくるケースもあり、受け皿づくりに余念がない。」

大阪市内の電気通信工事会社に入社した1982年から、同社が母体の阿波踊り連に入った。連

寺内 義幸さん

島市の演舞場に踊り込み、日ごろの練習成果を披露。10月に実施される堺まつり(堺観光コンベンション協会主催)の大パレードでも、乱舞を繰り広げている。

活動する上での最大の悩みは練習場所の確保。「音が思い切り鳴らせる場所が少ない。屋外しかないが、苦情がくると中

阿波踊り普及に尽くす

止せざるを得ない。小学校の体育館や河川敷が主な練習場所だ。91年に転職した住友不動産販売を退社し、2006年に独立した。母親が美波町で営んでいた不動産会社を株式会社化。堺市に本店を移転し、美波町の店を徳島支店とした。仕事の関係もあり、2カ月に1度は美波町に帰っている。

母校・日和佐中学校のサッカー部OBが集い、現役部員と交流試合をする元日の恒例行事を楽しみにしている。郷土愛は人一倍強く「阿波踊りのおかげで、仕事においてもさまざまな恩恵を受けた。徳島を愛しており、どこに住んでも徳島県出身だと声を大にして言いたい。」(大阪支社・須見千次郎)



美波町出身。阿南工業高校卒。住友不動産販売などを経て、2006年5月から日和佐不動産社長。堺市南区在住。49歳。

1日(金)

海部病院、初産分娩再開へ 徳島県立海部病院が、休止していた初産の分娩受け付けを9月にも再開する。本年度になって看護師の数が確保できたため、4年ぶりとなる。第二子以降も含め年間20件程度の出産に対応できるという。

2日(土)

県ミニバスケット4強出そろふ 第5回徳島新聞社杯兼第33回県ミニバスケットボール選手権第4日は、鳴門アミノバリューホールで男女3回戦と準々決勝が行われた。今大会初の延長戦や、1点差の接戦などベスト4を目指し白熱の戦いが繰り広げられた。男子は富岡、羽ノ浦(以上阿南)、松心(小松島)、藍住A、女子は加茂名南、



論田(以上徳島市)、石井、牟岐が準々決勝に進んだ。最終日の9日は、午前9時半から男女の準決勝と決勝が松茂町総合体育館である。

今週の動き

県内

- 4月 徳島大空襲を語るつどい(徳島市ふれあい健康館)
- 5日 綾小路きみまろスーパーライブ(アスティとくしま)
- 6日 電力エコとく 緊急節電・省エネセミナー(徳島グランヴィリオホテル)

国内・海外

- 4月 米独立記念日▶衆参両院議員の所得公開▶英国人女性殺害事件で市橋達也被告の裁判員裁判初公判(千葉地裁)
- 5日 サッカー 女子ワールドカップ(W杯)1次リーグ=日本-イングランド(ドイツ)▶ゴルフ 日本アマチュア選手権(~9日・愛知県三好)

きょうは 何の日? おうち

海外

6月26日~7月2日

ようにす... 地元住... ていたもの... こ改良工事... きない両道... するのは四

長は、株主... 見で、定期... 費が再稼働... (企業や家... 示した節電... の見通しを... からの電力... むどがたっ... が再稼働し... の支援送電... 。

売黒字 海部の3... 業会計決算... となったこ... 委員会では... 3年度に公... 作成して以... 計から繰入... を実質収支... で、依然と... 変わりはない